

第65回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年4月26日 10時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配布資料

第65回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

○三浦災害対策副本部長

- ・村井災害対策本部長は本日、女川原子力発電所の調査のため、出張中である。
- ・副本部長が代理で業務を務める。

○菊地危機対策課長

- ・被害の状況について、人的被害10人増加し、8,502人である。
- ・住宅被害について、調査中であった気仙沼市分が計上されたため、全壊8,500棟増加し、55,118棟となっている。半壊は10,418棟である。
- ・避難者は、270人減少の40,757人である。

○今野総務部長

- ・寄付金約52億円となっている。
- ・名古屋市、マツダ株式会社から自動車の寄贈をいただいた。

○伊藤震災復興・企画部長

- ・交通関係は、在来線の気仙沼線、前谷地―柳津間で4月29日に運転再開の見込みである。

阿武隈急行線について、福島―富野間で4月28日に運転の再開見込みである。

○小泉環境生活部長

- ・水道関係、未復旧率が9%と一ケタ台になった。
- ・福島第一原子力発電所事故に係るモニタリング結果は、低い数値で安定している。

○岡部保健福祉部長

- ・震災孤児数55人、南三陸町2人確認され、親戚による保護である。
- ・ボランティアの関係について、大雨の関係で一時減少したが3,200人の方に活動いただいている状況である。
- ・義援金については、先週末現在、約14万件、総額97億超である。

○河端経済商工観光部長

- ・東北経済産業局からの資料提供。中小企業に対する復旧・復興支援の相談件数等の情報である。
- ・商工経営支援課に3月15日から相談窓口を設置。1,260件の相談があった。

○千葉農林水産部長

- ・被害額、前回から3億円増額である。林業関係で気仙沼大島の分で追加である。
- ・海底状況調査のため、本日、サイドスキャンソナーを用いて、海底に堆積した瓦礫類について、今後の除去作業の参考とするため、女川湾から調査を実施し、順次他海域でも実施する。

○橋本土木部長

- ・交通規制の変更点について、資料のとおりである。

○自衛隊

- ・水，入浴提供の対応状況に変化なし。

○警察本部

- ・ご遺体の昨日の収容数33体。
- ・累計8,700体収容し，ご遺族への引き渡しは，7,351体，市町村1,067体である。

○東北電力(株)

- ・停電の状況，宮城県11,486戸。昨日，約7万8千個から減った感じがあるが，停電の基準を変更。自力での復旧を目指す戸数を計上し，報告することにした。
- ・今後は復旧に時間を要する箇所が大きく，1日1日の変化はそう多くはないことから，週1回の報告とし，出席も報告があった都度とさせていただく。

○教育委員会

- ・学校の再開に伴い，児童・生徒の安否確認が進み，石巻市，死亡者149人で前回より14人増，行方不明者30人減。差し引きの16人については，安否が確認された。
- ・学校の再開について，石巻市相川小学校は現在，橋浦小学校で授業を行っているが，4月26日より大指林業センターで授業を再開することが決定した。

○伊藤企業局長

- ・特になし。

○村井災害対策本部長

次回は4月27日10時00分に開催する。

